



# あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2002. 6月号

浜口哲一学芸員(生物担当)



明石新学芸員(考古担当)



鷹宏道学芸員(天文担当)



森慎一学芸員(地質担当)



浜野達也学芸員(民俗担当)



沢村泰彦学芸員(天文担当)



土井浩館長(歴史担当)

☆☆☆☆☆  
☆博物館のSEVEN STARS☆

先月号で管理担当のスタッフを紹介したら、「学芸担当の人もぜひ見たい」という声があがったかどうかは知りませんが、学芸担当にはこのような6名の職員が働いております。加えて、学芸員も兼ねる土井館長は先月に続いての登場となります。

私たち学芸担当の者は、ふだんは3階の研究室で原稿書きに勤しんだり、お客さんの質問に答えたり、収蔵室で資料と睨み合ったりしています。また、野外へ調べものに出る機会も多くあります。展示を作ったり、本を書いたり、皆様にいろいろな話をする事ができるのは、調査を通して日々新たな情報を蓄えているからです。

また、博物館には学芸員と一緒に調査や研究を行っている市民の方々もいます。そうしたサークルの仲間や、時にはフラリとやってくるお客さんからも、様々な情報がもたらされます。一人一人が持つ知恵と知識を共有のものにし、それを発信していくことが、地域の情報センターである博物館の大切な務めと考えています。どうぞ、気軽に3階研究室の扉を叩いてみてください。

# 夏の三角を見つけよう

## ★夏の三角って？

夏の三角は、こと座のベガ、わし座のアルタイル、はくちょう座のデネブの3星を結んでできる、やや細長い大きな三角形で、夏の夜空で目立つことからこの名前があります。3つとも1等星で、街の中でもよく見えます。ベガは七夕のおひめ星、アルタイルはひこ星にあたります。

## ★夏の三角—形と大きさ

三つの中で最も明るいのはベガ、次いでアルタイル、デネブの順になります。いずれも白く輝く星ですが、よく比べるとアルタイルはやや黄色味をおびているのがわかります。

三角の形は、アルタイルが他の2星から南に離れてとがった角を作っています（細長い三角定規の先くらいの感じ）。ベガやデネブから離れる距離は、角度で30度あまりになるので、腕をのぼしげんこつを作ると、その3～4個分になるでしょう。

## ★6月の見え方

右の図は夜10時ころのようすを示したものです。東の空に、ベガが高く目立ち、アルタイルはずっと右に、デネブはベガの左ななめ下にあります。デネブの近くには2等星もあるので、まわりの星の明るさとよく比べて見つけましょう。また、月の上旬にはまだアルタイルが低いので、暗かったり、天気によっては見つけにくい可能性があります。

七夕のころには、夜8時半くらいでこの位置に見られるようになります。

## ★星さがしのコツは

次のポイントに注意してさがしましょう。

### 1. 星の明るさを知っておく

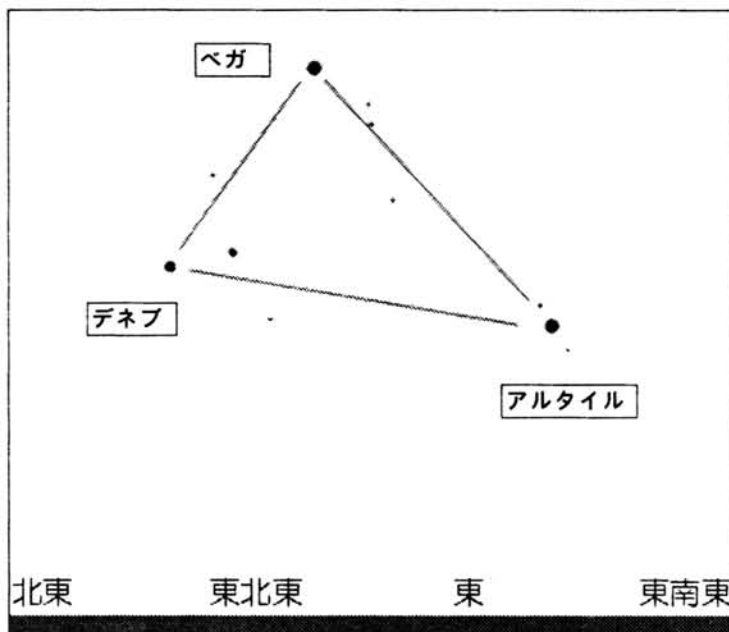
星の明るさは日によってちがって見えます。星どうしをどちらが明るいかわかることが大切です。

### 2. ならび方に注意する。

一度形を覚えると、星さがしはかんたんになりますが、はじめはなかなかそうも行きません。たとえばデネブの周りには、2等星や3等星がいくつもあります。明るさとともに、上下左右、空の高いところでは東西南北（ベガに向かって、とか、アルタイル側に、などでもよいでしょう）に注意して、まわりのニセモノもいっしょに確めれば、見つけた星に確信が持てるはずですよ。

## ★夏の三角はいつまで見える？

「夏の三角」とは言うものの、実は一年中見られます。たとえば、日没が早まる11月～12月は夕方の西の空に見えますし、1月～3月は明け方東の空に、4～5月は夜中になれば昇ってきます。夏に観察して形をおぼえたら、ときどき思い出して空をさがし、いつまで追い続けられるか、自分で記録づくりに挑戦してみましょう。



## 博物館のホームページで

さらによく詳しく解説しています

<http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/>  
からご覧ください。

●7、8月の見え方 ●大きさを手で測るには 等

星の動きがもう完ぺきにわかる！

プラネタリウム

「夏の三角完全追跡」

6/15(土)～7/14(日)

●土曜日 11:00 14:00 ●100円 ●中学生以下無料

市政70周年・平塚市博物館25周年記念特別展  
**「平塚市考古資料50選」**

相模川下流域に位置する平塚市は、山・川・海に囲まれ、温暖で過ごしやすい環境に恵まれています。このような土地に、約3万年前の旧石器時代から継続的に人々が暮らした痕跡が300カ所の遺跡として眠っています。

明治31年（1898）の万田八重窪横穴群の調査以来、約600地点の遺跡発掘調査が実施され、ふるさとの地、平塚の歴史が明らかにされつつあります。今回はこれらの遺跡から出土した膨大な資料の中から厳選した50点を公開します。

埋蔵文化財資料は、地域の歴史を語る「生き証人」であり、広く活用・保存されるとともに、その資料から地域の歴史を探ることによって、新たな地域文化が生まれるものと考えます。また、この展示会を通して、埋蔵文化財の啓蒙を推進するとともに、多くの方々が、ふるさと平塚に愛着と誇りを持っていただけたらと思います。



国指定史跡五領ケ台貝塚出土の五領ケ台式土器

■開催期間：平成14年7月20日（土）～9月1日（日）

■開館時間：9時から17時まで。ただし、金曜日は19時まで。

■休館日：月曜日

■特別展関連事業

◆記念講演会（定員各100名）

①「市民と文化財保護法」

期日：8月4日（日）

講師：近藤英夫氏

（東海大学・平塚市文化財保護委員）

②「考古学の楽しみ方」

期日：8月11日（日）

講師：苅谷俊介氏（俳優・考古学者）

□時間：14:00～15:30

□会場：平塚市博物館講堂

◆遺跡を歩く（定員各50名）

①第1回：8月9日（金）

コース：万田貝塚→万田八重久保横穴墓→日向ヶ丘遺跡→五領ケ台貝塚

②第2回：8月16日（金）

コース：真土大塚山古墳→前鳥神社→坪ノ内遺跡→構之内遺跡→中原上宿遺跡

□時間：午前9時～午後2時を予定。

□解説：当館担当学芸員

□雨天：当日の午前6時天気予報で、降水確率が午前6時～12時、12時～18時のいずれも50%以上の場合は順延します。その場合、第1回は8月23日（金）、第2回は8月30日（金）に順延します。



平塚市山王A遺跡出土の佐波理匙

◇申込方法（各定員制）◇

「記念講演会」、「遺跡を歩く」とともに、往復葉書に住所・氏名・年齢・電話番号を記入の上、各回ごとに7月20日（当日消印）までに博物館へ申し込んでください。多数の場合は抽選を行います。

参加費：無料

# 博物館カレンダー

<平成14年6月>

<平成14年7月>

1	土	天体観覧会「太陽」	屋上
2	日	相模川の生い立ちを探る会「丹沢産の勾玉」	厚木市
4	火	★全館燻蒸(6月13日まで休館)	博物館
5	水	民俗探訪調査会「民間信仰調査」	下島
8	土	◎漂着物を拾う会	虹ヶ浜
		地質調査会「塔ヶ岳亜層群10」	野外
9	日	水辺の楽校生きもの調べの会	相模川
11	火	天体観覧会「部分日食」	駐車場
13	木	石仏を調べる会「石仏調査」	四之宮
14	金	★寄贈品コーナー「平塚空襲展」(~7月30日)	展示室
		古文書講読会	講堂
15	土	★プラネタリウム「夏の大三角完全追跡」(~7月14日)	プラネ室
16	日	民俗探訪会「森戸神社汐神楽」	葉山町
		◎ろばたばなし	展示室
		地質調査会「読書会」	科学室
19	水	裏打ちの会	科学室
		民俗探訪調査会「民間信仰調査」	大島
20	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
21	金	古文書講読会	講堂
22	土	平塚の空襲と戦災を記録する会	特研究室
23	日	古代遺跡を探す会	広川
27	木	石仏を調べる会「石仏調査」	四之宮
28	金	古文書講読会	講堂
29	土	○自然の新聞を作る会「梅雨の総合公園」	大原

3	水	民俗探訪調査会「民間信仰調査」	小鍋島
4	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
5	金	古文書講読会	講堂
6	土	地質調査会「読書会」	科学室
		天体観覧会	屋上
7	日	水辺の楽校生きもの調べの会	相模川
10	水	プラネタリウム学習投影「星座と星の動き」(~7月12日)	プラネ室
11	木	石仏を調べる会「石仏調査」	四之宮
12	金	古文書講読会	講堂
13	土	◎漂着物を拾う会	虹ヶ浜
14	日	地質調査会「大山亜層群1」	野外
17	水	裏打ちの会	科学室
		民俗探訪調査会「民間信仰調査」	城所
18	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
19	金	古文書講読会	講堂
20	土	★夏期特別展「平塚市考古資料展」(~9月1日)	特展室
		★プラネタリウム「重力」(~9月1日)	プラネ室
21	日	◎ろばたばなし	展示室
		古代遺跡を探す会	横須賀
		◎星を見る会「夏の星空に親しもう」	屋上
		天体観覧会	屋上
24	水	○君もプラネタリアン	プラネ室
		◎夏休み自由研究相談会	科学室
25	木	石仏を調べる会「カード整理」	特研究室
		○君もプラネタリアン	プラネ室
26	金	古文書講読会	講堂
		○君もプラネタリアン	プラネ室
27	土	平塚の空襲と戦災を記録する会	特研究室
		民俗探訪会「貴船まつり」	真鶴町
28	日	相模川の生い立ちを探る会「箱根火山の基盤」	箱根町
30	火	○体験学習「縄文土器を作ろう」	科学室
		○自然観察入門講座「貝化石を調べる」	野外
31	水	○体験学習「縄文土器を作ろう」	科学室

## ◇休館のお知らせ◇

館内の殺虫消毒にともない、6月4日(火)~13日(木)まで休館いたします。

☆: 展示(無料) プラネタリウム(観覧料)  
○: 申込制 ◎: 自由参加 無印: 会員制

## 展示とプラネタリウム

☆寄贈品コーナー「平塚空襲展」  
昭和20年7月の平塚空襲に関する資料を展示。  
会期: 6月14日(金)~7月30日(火)

東海道本通り付近の被災状況



☆プラネタリウム「夏の大三角完全追跡」  
おりひめ・ひこ星、はくちょう座、夏の星探しはこれでバッチリ。星の動きも完ぺき解説!  
期間: 6月15日(土)~7月14日(日)  
投影日: 土日曜日の11時と14時

## 参加者募集

○自然の新聞を作る会「梅雨の総合公園」  
総合公園を歩きながら動植物の観察やスケッチをします。自然新聞の記事作りもします。  
日時: 6月29日(土) 13時~16時  
定員: 30名  
申込: 往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、6月15日までに博物館へ申し込む

◎漂着物を拾う会  
海岸に流れ着いた物から、来歴を推理したり、自然環境を考えたりします。  
日時: 6月8日(土) 9時30分~11時  
場所: 平塚虹ヶ浜海岸  
参加: 自由(ただし、初めての方は往復はがきで申し込むこと)

◎ろばたばなし  
民家の囲炉裏端で昔話を聞いてみませんか。  
日時: 6月16日(日) (1)13時30分~ (2)15時~  
場所: 展示室民家 参加: 自由

あなたと博物館 27巻 3号 通算307号 発行 平塚市博物館 2500

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949

E-Mail:muse@city.hiratsuka.kanagawa.jp ホームページ http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/